



組合員座談会

## 放射能への「疑問」と「不安」



2019年10月5日(土)、「甲状腺検診キックオフ学習会」に続いて行われた組合員座談会の様子(パルシステム東京・東新宿本部)



「たらちねクリニック」  
院長・内科小児科医師  
藤田 操(ふじた みさお)さん

栃木県出身。金沢医科大学卒業。東日本大震災後に東京都から福島県平田村の病院へ移り、その後、子どもたちの保養施設のある沖縄県久米島の病院勤務を経て、2017年5月に福島県いわき市の「いわき放射能市民測定室」に開所した「たらちねクリニック」の院長に就任。子どもの甲状腺検診を行っている。

福島県いわき市の「たらちねクリニック」で子どもの甲状腺検診を行う内科医師の藤田操さんを囲んだ座談会を行いました。「子どもたちをどう守るのか」について、組合員からあがったさまざまな疑問や不安の一部を紹介します。

**組合員** 甲状腺検診は受けるべき？ 子どもが何歳になるまで受けたほうがよいのですか？

藤田医師: 原発事故当時の胎児や児童は、放射能の影響を受けるリスクが高くなります。また、事故直後に放射線量の高い屋外で長く活動していた子どもも心配です。そうした子どもたちには、あと数年間、できれば成人するくらいまでは甲状腺検診を受け続けてほしい。甲状腺に異常がないか様子を見ておくのが望ましいです。

**組合員** 食品の放射能基準には、パルシステムはじめ、国より厳しい自主基準を定めている団体や企業があり、安全といえる基準値が分かりません。

藤田医師: 安全に対する考え方は、人それぞれです。子どもがいる世帯か高齢者だけの世帯かでも違ってきます。ただ、小さい子どもはリスクをできる限り避けたほうがよいです。測定結果を見るときに意識してほしいのは「検出下限値」(検出限界値)で、測定機関によって差があります。測定結果が「不検出」であっても、「下限値未満」という意味で、放射性物質が全く存在しないという意味ではありません。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134、137の合計) 2014年10月より現行基準(単位Bq/kg)		国の規格基準	
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	水、飲料茶	10
飲料、乳製品、米	25	乳幼児用食品、牛乳	50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、 その他食品、きのこ類(しいたけ除く)		一般食品	100
しいたけ	100		

※パルシステムでは検出下限値3Bq/kg(乳幼児用食品は1Bq/kg)で検査しています。

**組合員** 甲状腺がんの子どもが増えていると聞きましたが、実際には？

藤田医師: 福島県が実施している県民健康調査(※事故当時18歳未満が対象)では、甲状腺がん、あるいはがんの疑いと診断された人が徐々に増え230人いると公表されています(2019年10月現在)。そのなかには原発事故の影響を受けた人もいれば、そうではない人もいるかもしれません。「不安にさせるから」という理由で健康調査を縮小しようという意見もありますが、検診を続けていくことが、むしろ不安をなくしていくことになると思います。被ばくの影響を見過ごしてはなりません。

**組合員** 保育園で外遊びがあり、放射線量が気になるのですが……

藤田医師: 私が所属する「いわき放射能市民測定室 たらちね」では食品や土壌の放射能測定をしています。全国各地に通学路なども含めて放射能測定をしている施設がありますので、そういうところに相談してみてもどうでしょうか。ひとりで抱えるのではなく、みんなで話し合っていくことが安心感につながります。

こんな声もありました

- ・放射能のことには関心がないと思っていた18歳の娘から、「私も甲状腺検査を受けておきたかった」と言われてハッとしました。
- ・自分の意識から原発事故のことが薄れかけています。もう一度、身近な問題として考えていきたいです。

パルシステムの4つの会員生協(パルシステム東京、パルシステム神奈川ゆめコープ、パルシステム千葉、パルシステム群馬)では、子どもの甲状腺検診を実施しています。詳しくは各生協のWebサイト、または下記パルシステム問合せセンターまで。

## 放射能検査状況について

2019年度の検査数(カッコ内は検出件数)  
2019年11月27日現在

総計: 2285(21) 不検出率: 99.1%

2018年度の検査数 総計: 3943(47) 不検出率 98.8%

青果	400(2)	2検体のれんこん(2品とも3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	24(18)	生しいたけ(4.3~15Bq/kg)、岩手県産乾しいたけ(6.6Bq/kg)、冷凍産直原木しいたけ(カット)(5.8Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	65(0)	放射能の検出はありません。
米・米飯類	28(0)	現在お届けの2019年産の玄米検査で放射能の検出はありません。

牛乳、肉、卵	44(0)	産地ごとに定期的に検査しており、放射能の検出はありません。
魚介類	134(0)	放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	53(0)	放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	187(0)	放射能の検出はありません。
その他加工食品	1350(1)	茨城の紅はるか干しいも(3.7Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



● 週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。  
● インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川ゆめコープ・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき  
パルシステム問合せセンター ☎0120-868-014 月~金曜日:9時~20時 土曜日:9時~17時  
※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨 甲府センター ☎0120-28-5891 高崎センター ☎0120-60-5118  
西桂センター ☎0120-32-1061 渋川センター ☎0120-36-3315  
一宮センター ☎0120-21-9898 東毛センター ☎0120-63-3735  
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。